

## 新型コロナウイルス対応緊急支援助成 事業計画（実行団体）

事業名（主）	共創の音楽で大槌の子ども達に生きる力を（20 字以内）
事業名（副）※任意	（30 字以内）

実行団体名	一般社団法人エル・システムジャパン
資金分配団体名	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

**優先的に解決すべき社会の諸課題** ※該当する領域に☑（チェック）を入れてください（複数可）※左側でチェックした領域に対応する分野に☑を入れてください（複数可）

	領域		分野
☑	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	☑	①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
		☑	②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
		☐	③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
☐	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	☐	④働くことが困難な人への支援
		☐	⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
☑	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	☐	⑥地域の働く場づくりの支援
		☑	⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他団体として解決したいと考えている社会の課題	☐	（50 字程度）
-------------------------------	---	----------

実施時期	2020 年 12 月 ～ 2022 年 1 月
事業対象地域	☐ 全国 ☑ 特定地域（ 岩手県大槌町 ）
事業対象者 （事業で直接支援する対象者と、その他最終受益者を含む）	障害や不登校など様々な困難のある大槌町の子どもとその保護者。子どもセンターなどの放課後過ごす場所に居場所を見いだせない子ども。大槌弦楽器教室に通う子どもとその保護者。
事業対象者人数（想定）	約 100 人

### I. 団体の社会的役割

(1)申請団体の目的
オーケストラやコーラス等の仲間との音楽活動に、子どもなら誰でも参加できる環境を整え、音楽を通して異年齢、異文化、異国籍の人達と交流する機会をつくる。子ども達は、一人ひとりに役割があり、違いを超えてコミュニケーションを図れることを学ぶ。そのことより、被災や貧困、障害等どんな境遇にあっても自分自身とその周りの社会環境に誇りと自信を持ち、希望を持って人生を歩んでほしいと願う。さらには、子ども達を中心に地域や社会が活性化されることを目指している。（200 字程度）

## (2)申請団体の概要・事業内容等

オーケストラやコースなど、学校や学年を超えて仲間と共に学べる音楽活動を大切にしている。子どもであれば誰でも参加できるよう、参加は無料、楽器も全て提供され、音楽経験の有無も問わない。東日本大震災後福島県相馬市から始まった活動は、現在、岩手県大槌町、長野県駒ヶ根市、東京都の4か所で展開。各地域での発表の機会を企画、他の地域や世界の子ども達との共演も積極的に行っている。(200字程度)

## II.事業の背景・社会課題

### 新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、学校が休校になったり、体験型学習の機会の減少やオンライン化が進んでいる。それに伴い、子どもたちが友達と一緒に活動する機会が減り、家庭の中など限られた環境の中で限られた人と過ごすことが増えた。

このような状況でも、オンライン環境が整っており、家族が余裕をもって子どもと寄り添える家庭では、それぞれの工夫によって子どもたちが新たな学びや体験の機会を得る機会にもつながっている。一方で、オンライン環境が整わなかったり、もともと家族との関係がうまくいっていなかったり、新型コロナウイルス感染拡大により大人の余裕がなくなった家庭では、子どもたちは学びや体験の機会を失い、子どもたち同士で関係性をつくることも困難にしている。子どもに対する虐待増加の懸念や、無気力で無意欲な子どもたちの増加、リテラシーがないままつながりをインターネットの世界に求めることによる犯罪に巻き込まれるリスク等、多くの問題が指摘されている。

今回の事業の対象地である岩手県大槌町では、東日本大震災後から人口減少が加速し、少子高齢化が進んでいる。都市に比べて子どものための居場所や体験の機会も限られ、特に障害があったりひとり親家庭だったり、その他なんらかの生きづらさを抱える子どもたちへのサポート体制は十分整っているとは言えない。新型コロナウイルス感染に関しては、岩手県の感染者数は少なく、休校期間も短かったものの、始業式・入学式への影響、3月頃からの商品の品薄、先が見えない社会の閉塞感、メディアを通して毎日のように流れるニュース等、どこか東日本大震災直後と似ている状況に、大人が浮足立ち、県外からの訪問者や県外に出かけた町民を嫌厭するようになっていく。学校の様子や、子どもセンターの様子を見聞きすると、子どもたちもどこか落ち着きがなくなっていることを実感する。(800字程度)

## III.事業内容

### (1)事業の概要

音楽によって地域復興のために地元で活動する槌音と、震災直後から子ども支援として音楽教育事業を展開しているエル・システムジャパンとの連携で、地元の障害児向けデイサービス事業に通う不登校や障害のある子ども、また、放課後の居場所を見いだせない子どもに対して楽器演奏や様々な分野の音楽鑑賞の機会をつくる。そのことで、子ども自身が自己表現をし、仲間と音楽でつながることができる環境を整える。また、エル・システムジャパンが運営する弦楽器教室の子どもたちとの交流により、さらにつながりと交流の輪を広げられることを目指す。尚、町内だけでは講師の確保が難しいが、オンラインの活用によって県外からも協力を得、よりよい環境を整えていく。(300字程度)

### (2)事業実施後(1年後)以降に目標とする状態

今回実施したプログラムが恒常的なものとして確立し、子どもたちの大切な居場所となり、自信や、やる気の源になっていること。弦楽器教室の子どもたちとの交流事業も、双方が主体的な参加(合奏や教えあい等)で成り立つものになっており、より子どもたちのつながりを強くするものになっている状態。(200字程度)

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	子どもたちが学校や家庭とも違う第3の居場所としてこのプログラムに積極的に参加し、満足している
実施・到達状況の目安とする指標	参加する子どもの数、弾けるようになっている曲の数、満足度
把握方法	参加者数カウント、発表会の開催、個別、グループインタビュー
目標値/目標状態	30人（現在0人）、1人1曲以上を弾ける状態、活動を楽しんでいる
目標達成時期	2022年1月

(4)活動	時期
週に1回、指導者を招き、楽器体験・練習会・鑑賞教室を開催する	2020年12月～2022年1月
大槌弦楽器教室の子どもたちのコンサートに参加し、交流会を実施する	2021年12月

(5) 事業の今後の展開（今後、団体が目指す事業展開）
大槌の弦楽器教室を地元の運営で継続できるような状態づくりを強化し、今回の申請事業のような地元の他の団体との連携プログラムを増やすことで子どもたちの活動をより充実させる。それにより、より地元の力で子どもたちを支え育てられるような環境を整える。(200字程度)

(6) 日々の事業実施や組織運営において子どもの安心・安全をどのように確保していますか？ （子どものセーフガーディングの取り組みなど）
体罰禁止は当然として、楽しく子どもが参加できるような工夫を重ねている。ボランティアや指導に加わる大人は必ず責任者と面談、個人の背景や情報を把握し、子どもの権利を尊重するための誓約書にサインしてもらっている。団体広報物への写真や名前の掲載も、事前に保護者に書面で確認、むやみに広報物に公開しない。複数の大人がかかわり、子どもや教室運営に問題が起きた時にはチームで話す機会を設けている。(200字程度)

(7) 子どもへの支援活動を行う際に、団体として、留意・心がけているポイント。（活動における子どもの役割など）
地域の教育委員会と連携し、対象地域全ての子どもが対象となるように整えている。またそのことで、地域の教育活動や考え方を知り、尊重しつつ、アドボカシーができるような話し合いの場を持っている。実際の教室運営・指導に関しては、子ども同士の教えあい（ピア・ラーニング）を促し、子どもたちに意見を聞きながら活動内容を決定する。保護者や学校教員とも対話し、家や学校の様子を把握するようにしている。(200字程度)

#### IV.事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割	一般社団法人エル・システムジャパン 全体統括・会計管理・交流事業主催 一般社団法人槌音 企画、運営・指導者派遣、調整・楽器準備・会場設定
(2)他団体との連携体制	上記2団体がコンソーシアム協定を結び、連携して事業実施に当たる。教育委員会も関与し、今後のまちの子ども支援事業につなげられるよう努める。障害や不登校等の子どもを受け入れる町で唯一の学童保育施設である「ぼこあぼこ」とも連携を図る。
(3)想定されるリスクと管理体制	新型コロナウイルス感染状況で、講師が大槌に来られなくなるリスク。オンラインでの実施も視野に入れ、教室での換気、手洗い消毒、密にならない等、感染防止に心がける。

## V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無		
新型コロナウイルス感染症に係る事業		
①本申請事業について、新型コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動している(予定も含む)	<input type="checkbox"/> 有り	「有り」の場合その詳細
	<input checked="" type="checkbox"/> 無し	
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない。	<input checked="" type="checkbox"/> 無し	※有の場合、選定の対象外となります。 (公募要領：助成方針参照)

  

(2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績
幹事団体であるエル・システムジャパンが実施する大槌弦楽器教室は、2014年から大槌町のすべての子どもを対象に活動を実施しており、以降6年間外部評価調査を入れて、そのインパクト、効果について調査を行ってきた。また毎年、地元団体である槌音プロジェクトの主催するイベントへ大槌弦楽器教室の子どもたちが参加し、共催イベントを企画するなど、連携の実績を持っている。(200字程度)